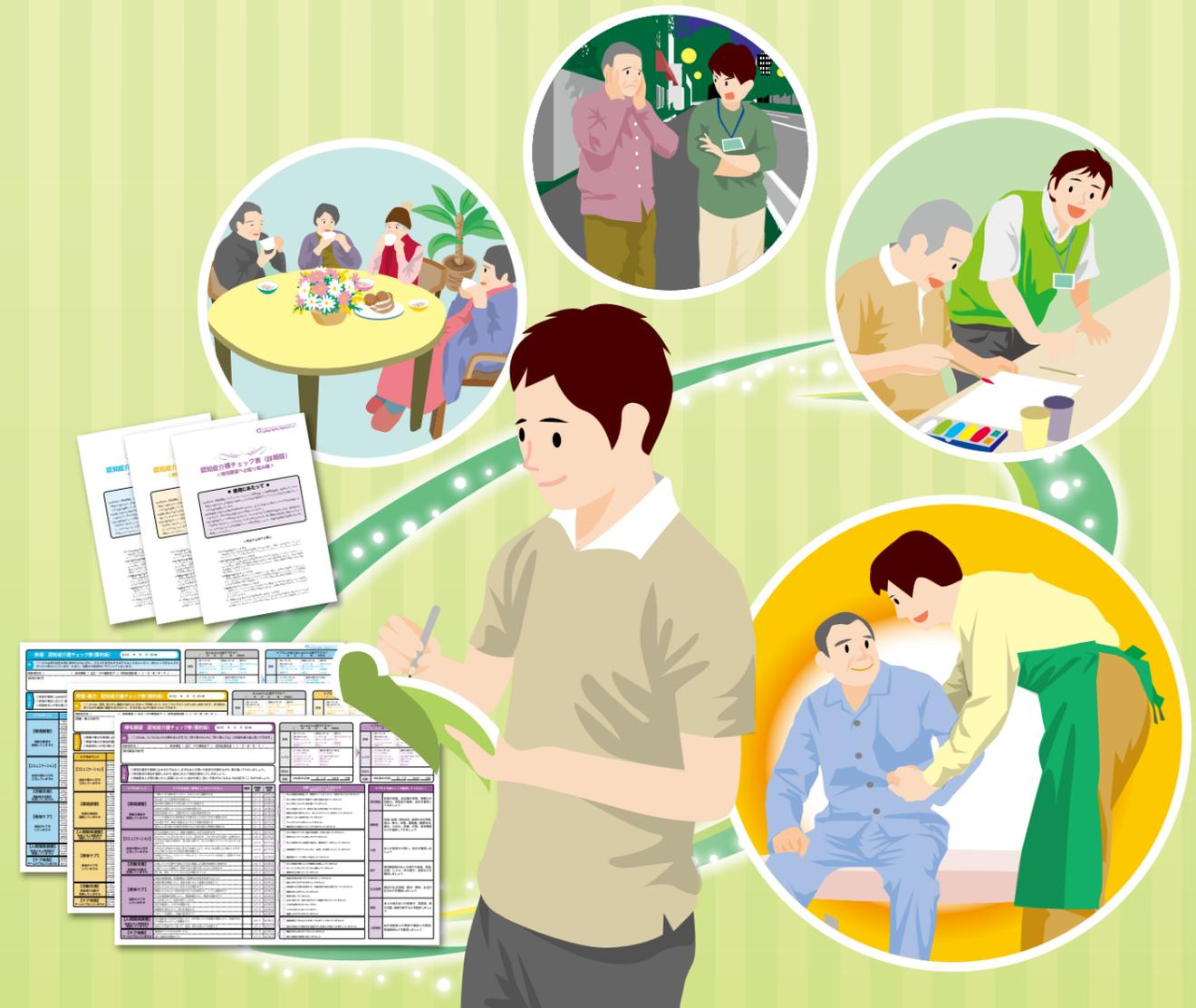




社会福祉法人 東北福祉会
認知症介護研究・研修仙台センター

〒989-3201 仙台市青葉区国見ヶ丘6-149-1
TEL 022-303-7550 / FAX 022-303-7570
<http://www.dcnet.gr.jp>

続 初めての認知症介護 認知症介護チェック表 活用ガイド



続 初めての認知症介護 認知症介護チェック表 活用ガイド

目次

はじめに	02
1 教材開発の経緯	04
認知症介護チェック表（要約版）	06
認知症介護チェック表（詳細版）	09
2 認知症介護初心者の特徴	20
3 認知症介護初心者の教育ポイント	22
4 認知症介護チェック表の使い方	24
使い方① 認知症介護チェック表（要約版）	24
使い方② 認知症介護チェック表（詳細版）	32
使い方③ 解説集の使い方	40
5 介護現場での活用方法	42
6 活用の実際	44
活用例① 導入するときの例	44
活用例② 教育担当者が専任でいる事業所の場合	46
活用例③ 事業所全体で組織的に活用している場合	48
活用のヒント	52
① 初心者が活用する場合	52
② 認知症介護の指導に活用する場合	53

はじめに

厚生労働省から報告された認知症の将来推計によれば、2012年での認知症の人の数は462万人と推測され、2025年には約700万人前後に達するといわれています。このような認知症の急増に伴い、現在、介護分野の有効求人倍率は、全産業より高い水準で推移しており、認知症介護の人材は今後ますます必要とされています。しかし、厚生労働省の福祉人材確保専門委員会の報告（2015年）によると、2025年には248万人の介護人材が必要であるのに対し、生産年齢人口の減少や他産業への人材流出を背景に約30万人の介護人材が不足すると推測されています。また、全介護職員中（施設）、約4割が非正規職員であり、そのうち約1/4が短時間労働者であると報告されています。

つまり、今後の介護分野における人材傾向は新規学卒者、退職者、中途採用者、非正規職員等の割合が増加し、同時に認知症介護の初心者や未経験者が急増する可能性が考えられます。このことは認知症介護の未経験者が、未熟な技能のまま介護を行うことによって不適切なケアの増加や虐待の発生につながる危険性が高まることを意味しています。介護の質の低下を早急に防止し、認知症介護未経験者の介護技能を向上させるためには、基本的な技能を短時間で簡便に、かつ効率的に身につけるための教育体制の整備が一刻も早く必要です。

認知症介護研究・研修仙台センターでは、認知症介護を初めて行う初心者や、指導を行う教育者向けの教材を開発するために、平成24年度老人保健健康増進等事業「認知症における行動・心理症状（BPSD）対応モデルの構築に関する研究」において、最も生起頻度が高く、介護者が負担と感じている徘徊、興奮・暴力、帰宅願望に関するケアの成功事例を収集し、徘徊、興奮・暴力、帰宅願望への介護方法に関する自己評価ツールと解説書「続 初めての認知症介護解説集 徘徊、興奮・暴力、帰宅願望編」を作製しました。

今般、教材を活用している多数の方からの、使用方法に関するガイドラインがほしいという要望に応え、徘徊、興奮・暴力、帰宅願望への介護方法に関する自己評価ツールと解説書「続 初めての認知症介護解説集 徘徊、興奮・暴力、帰宅願望編」の活用に関するガイドを作製しました。ぜひ初任者の基礎知識や基本技術の向上、また中堅職員や教育担当者の指導力の向上を促進するために本ガイドをご活用いただければ幸いです。

認知症高齢者の増加 + 介護人材不足

➡ 未経験者の増加

- ① 未経験者がすぐに認知症高齢者をケアする機会の増加
- ② 不適切ケアの増加による質の低下

対策

認知症介護未経験者の実践技術を即時に向上させる必要性

実践可能な最低限のケア方法を身につけるための
職場内の教育手法が必要。
しかも簡便、低コスト（時間、作業、金）が重要

目標

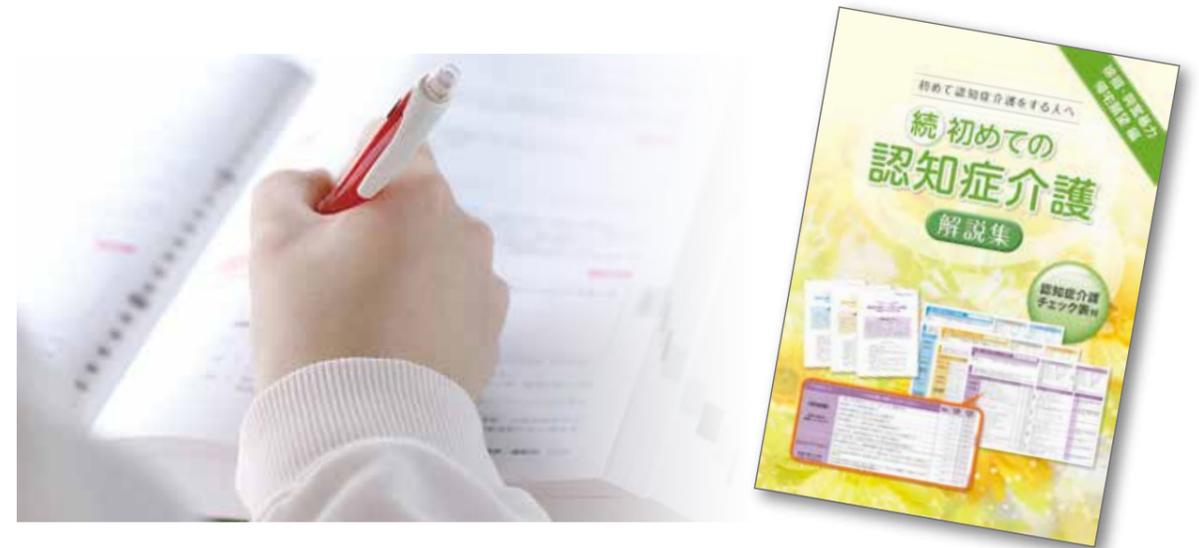
効率的な職場内教育者の育成と、自己学習支援システムの構築

- ① 初心者がケアの方法の引き出しを増やし、ケアを自己評価できるようにする教育ルールの開発
- ② 指導者向けケア指導用ツールの開発



1 教材開発の経緯

教材開発の手順



1

認知症介護のモデルづくり(平成24年度)

平成24年
「認知症における行動・心理症状(BPSD)対応モデルの構築に関する研究」

●徘徊、興奮・暴力、帰宅願望に対する成功ケア事例の収集と分析

認知症介護の実践方法に関するモデルをつくるために、平成24年度老人保健健康増進等事業「認知症における行動・心理症状(BPSD)対応モデルの構築に関する研究」において、全国の開設5年以上の介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護事業所、認知症介護指導者所属事業所、計11,622件を対象に、徘徊、興奮・暴力、帰宅願望場面で介護が成功した場合の介護方法に関する調査を実施しました。徘徊656事例、興奮・暴力705事例、帰宅願望765事例の回答をいただき、成功したケア方法を整理しました。

2

検討委員会による検討

- 認知症介護及び教育エキスパート6名による検討会を2回実施
- 教材の形式、内容、活用方法について検討

認知症介護や指導の専門家7名を委員とする検討委員会にて、調査結果を基に教育のための教材の形式や使用方法、方針について検討しました。検討の結果、以下の6点を教材の重点項目としました。

- 1 BPSD別のケア方針を示すこと
- 2 BPSD別のアセスメント・ケアモデルを示すこと
- 3 ケア方法の例は実践可能であること
- 4 不適切なケアの方法例を具体的に示すこと
- 5 初任者の自己評価力を向上させるため、自己評価式にすること
- 6 チームケア向上のため、リーダー等の指導用ツールも開発すること

3

認知症介護自己評価ツールの作製

- 要約版
初任者が自分のケアをチェックし続けることで、ケア方法の引き出しを増やすための自己評価ツールを作製
- 詳細版
指導担当者が初任者のケアを指導するための指導者用ケアチェック表を作製

6点の重点項目を念頭に、頻繁に発生するBPSDの症状別に、介護者が自分の介護を評価できるように、自己チェック式の介護チェック表を作製しました。

基本的な介護方法を簡易に、また網羅的に評価できるようにA3版1枚に要約した初心者用の介護チェック表(要約版)と、ケアの方法ごとに詳細に具体的な方法の例をチェックできるような指導者用の介護チェック表(詳細版)の2種類を作製しました。

4

解説集(ガイドライン)の作製

- 自己評価ツールの補助教材として解説書を作成

介護チェック表に記載されている方法を初心者用に解説した解説集を検討委員が分担執筆しました。介護チェック表に記載されている方法例では初心者の理解が不十分な場合に、解説集を参考に理解を深めることと、指導担当者が説明や指導を行う際の参考資料としての活用を目的に作製しています。

1

教材開発の経緯

1

教材開発の経緯

認知症介護チェック表(要約版)

徘徊 認知症介護チェック表(要約版) 記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

【徘徊の様子】

ケア方針

- 徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
- 徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
- 高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

ケアのポイント	ケアの方法例 (参考にしてみてください)	確認	詳細版参照	解説集参照
【環境調整】 周囲の環境を調整していますか	一緒にいる人数を多くしたり、少なくしたり調整をする		p1-①	p44-①
	落ち着くような居場所を用意する		p1-②	p45-②
	座る席の位置を本人の落ち着くように調整する		p1-③	p46-③
	以前から使用していたなじみの物を使用する		p1-④	p46-④
	居室を整備したり、位置を変えたり居室環境を整える		p1-⑤	p47-⑤
	トイレや居室などに案内板などの表示をして分かりやすい環境にする		p1-⑥	p48-⑥
	光は強すぎず、雑音や騒音はなるべく刺激を調整する		p1-⑦	p48-⑦
	屋外にも落ち着ける場所を用意するなど庭や屋外の環境を整備する		p1-⑧	p49-⑧
【コミュニケーション】 会話や関わり方を工夫していますか	好きな話題を入れたり、感謝や賞賛をしながら会話をする		p3-①	p51-①
	本人のペースに合わせてゆっくりと、否定せず、うなづきながら話を一生懸命きく		p3-②	p53-②
	できるだけ静かな環境で、落ち着く場所で、本人の行動やタイミングに合わせて会話を		p3-③	p54-③
	できるだけ声掛けや会話、見守りを増やしたり、あるいは必要以上に関わりすぎず、本人の様子に合わせて会話の量を調整する		p3-④	p54-④
	言葉だけでなく、スキンシップをしたり、アイコンタクトを多用し、言葉だけでは		p3-⑤	p55-⑤
【活動支援】 高齢者の活動を支援していますか	以前していた日課や仕事など生活に関連した活動を継続的に実施する		p5-①	p56-①
	以前行っていた趣味や、興味のある活動を楽しめるよう実施する		p5-②	p57-②
	買い物、散歩、ドライブなど外出の機会をつくる		p5-③	p58-③
【身体ケア】 身体のケアをしていますか	診察や服薬指導、投薬調整など医療的助言を医師からもらう		p7-①	p60-①
	食事の量を調整したり、食欲を満たすよう食事の支援を行う		p7-②	p61-②
	脱水にならないようにこまめに水分補給を行う		p7-③	p61-②
	便秘にならないよう排泄を促すような支援を行い、トイレ誘導を行う		p7-④	p62-③
	日中の運動量を調整したり、意識覚醒を行い、睡眠の調整を行う		p7-⑤	p63-④
	入浴を促したり、回数を増やしてみる		p7-⑥	p64-⑤
	視力を確認し、メガネを調整する		p7-⑦	p64-⑥
	補聴器を使用したり、聴力を確認する		p7-⑧	p64-⑥
	カロリーを調整し、体重の管理を行う		p7-⑨	p65-⑦
【人間関係調整】 他者との人間関係を調整していますか	他の高齢者との交流を促進したり、仲の悪い人との距離を調整したり、地域の知人との面会をしたりして調整を行う		p9-①	p66-①
	家族との手紙のやり取りや、面会、帰宅支援などを調整する		p9-②	p68-②
【ケア体制】 チームケアをしていますか	職員間でケアの方法を統一する		p7-⑩	p70-①
	関わる職員の調整を行う		p7-⑪	p71-②

本人はどんな様子ですか？
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 眉をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
気持ち			
回数	・徘徊の回数 ____ 回 / 1日 ____ 分おき ____ 分間		

ケアをした後の本人はどんな様子ですか？
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 眉をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
気持ち			
回数	・徘徊の回数 ____ 回 / 1日 ____ 分おき ____ 分間		

- 注意☆こんなケアしてませんか 気を付けてください**
- 本人の要望を無視して、無理やり1人にしたり、大勢の中に入れてませんか
 - 本人の様子を見ずに無理やり席の位置を変えていませんか
 - 本人が気に入らない物を置いていませんか
 - 本人と相談しないで、勝手に色んな物を置いていませんか
 - 職員が目線で表示したり、本人にわかりにくい表示していませんか
 - 聞きたくない音楽を流していませんか
 - テレビをつけっぱなしにしてませんか
 - 職員同士の会話をリビングで大声でしていませんか
 - 本人が触れたくない過去の話題を一方向的に話していませんか
 - 意味もなくたくさん話しかけていませんか
 - 本人の興味のない話題や会話を、職員側が一方向的に話していませんか
 - 信頼関係ができていないのに、突然、手を触ったりしていませんか
 - 職員側のペースで急いで話を話していませんか
 - 本人の興味が無いことを無理にお願いしていませんか
 - ゆっくりと休んでほしいのに強制していませんか
 - 義務的な仕事になっていませんか
 - 医師の診察を受けずにそのままにいませんか
 - 痛みに気づかずそのままにいませんか
 - 食事量や水分量を把握せず、栄養失調や脱水状態になっていませんか
 - 服薬を本人任せにいませんか
 - 便秘が続いていませんか
 - 日中に動かず、夜中に起きだして睡眠不足になっていませんか
 - 入浴の回数が少ないですか
 - メガネは本人にあっていますか
 - 運動しすぎてつかれていませんか
 - 高齢者同士でもめごとがあってもほろっとおいていませんか
 - 過去の家族との関係性を把握せずに家族との関わりを増やしていませんか
 - 職員がばらばらのケアをしていませんか
 - 関わる職員が頻りに変わりませんか

ケアをする時にここを確認してください！

認知機能	記憶の程度、見当識の有無、理解力や判断力、認知症の種類、症状を確認してみましょう
健康面	体調、疾患、排泄状況、食事や水分摂取、視力、聴力、体重、運動量、睡眠状況、痛み、かゆみ、投薬、幻覚、身体機能などを確認してみましょう
心理	本人の気持ちや思い、気分を確認しましょう
様子	徘徊時の本人の様子や表情、言葉、目線、しぐさ、声の調子、姿勢などを確認しましょう
生活習慣	過去の生活習慣、嗜好、興味、生活の仕方などを確認しましょう
環境	本人の身の回りの刺激や、雰囲気、席の位置、居室の様子などを確認しましょう
人間関係	他の高齢者との関係や職員との関係、家族関係などを確認しましょう

1 教材開発の経緯

1 教材開発の経緯

認知症介護チェック表（詳細版） ＜徘徊への取り組み編＞

● 使用にあたって ●

- *本冊子は「環境調整」「コミュニケーション」「活動支援」「人間関係調整」「身体ケア」「ケア体制」に関する6つの視点から望ましいケア方法や確認ポイントについて自分の介護をチェックする表を掲載しています。
- *徘徊には色々な理由や特徴がありますが、全ての徘徊について望ましいケア方法を記載していますので、好きな所を必要に応じて使用してください。
- *別に要約版チェック表がありますので、それと合わせての使用をお勧めします。要約版はケア全体を1枚でチェックできるようにまとめたものです。新人職員や初任者に使用してもらって、わからないところを詳細版チェック表を参考にしたり、先輩や指導者が指導するときに参考にしてください。

＜使用する時の手順＞

- ①ケアの方法をチェックする
認知症の方の徘徊が起きている時に、現在、自分が行っているケアについて、チェック表を見ながらケアのポイントをチェックしてみてください。
- ②取り組みの参考例をチェックする
ケア方法ごとに取り組みの参考例がありますので参考にしてみてください。これらの例は、実際に徘徊の緩和に成功した取り組み例ですので、自分の施設や事業所では該当しない例もあるかもしれません。事前に職場で相談しながら慎重に検討してみてください。
- ③高齢者の様子をチェックする
現在の高齢者の様子について表情やしぐさ、様子、気持ちを確認してみてください。おおよそ1日を通してどのような状態かを記録してください。ケア実施後も必ず高齢者の様子を確認して、ケアをする前と後の変化を確認してください。
- ④確認するポイントをチェックする
確認ポイントについてもケア方法ごとに確認した方が良い視点について参考にしてください。これらの視点を確認できれば、行動の原因が分かり、ケアに活かすことができます。
- ⑤「注意☆こんなケアしてませんか」をチェックする
ケアのポイントごとについてやっつけがちで不適切と思われるケア方法を記載していますので、自分で知らず知らずに行っていないか確認してください。

認知症介護チェック表 (詳細版)

徘徊 認知症介護チェック表(詳細版)
(環境調整)

記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

【徘徊の様子】

- ケア方針**
- ◎徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
 - ◎徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
 - ◎高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

ケアの方法	確認	取り組みの参考例	解説集参照
①一緒にいる人数の調整をしていますか 本人の要望や気持ちに合わせて、1人で過ごせる場所や時間を留意したり、あるいは大勢で過ごせるような場所づくりをしていますか		1人で過ごせる場所や時間をつくる 1人にせず、大勢でいる場所をつくる 一緒に食べる人数を少なくしたり、あるいは大勢で食べる 趣味活動を大勢で行ったり、少人数で行う	p44-①
②落ち着いて過ごせる場所を用意していますか 本人の要望や気持ちに合わせて落ち着ける場所づくりをしていますか		落ち着いて会話ができる場所を用意する 落ち着いて座れる椅子やソファを用意する 畳やこたつなどがある場所を用意する みんなが集まる場所で過ごしてもらう リビング以外にも、少し離れたところに小さなテーブルとイスを用意する	p45-②
③座る席の位置を調整していますか 座る席の位置を専用にしたたり、あるいは気分によって自由に選んでもらったりしていますか		リビングの座席を変更する リビングに専用の席を作る 席をあえて固定化せず、自由に選んでもらう	p46-③
④なじみのものを使用していますか 居室やリビングや廊下など、生活場所に慣れ親しんだ物や自宅で使用していたものなどを留意していますか		居室に自宅で使用していたものや、写真等を持ち込んでもらう 自宅と同じ芳香剤を置いてみる 自宅で使っていた人形を側におく 居室に自宅で使っていた椅子を置く ご本人がこだわりのものを留意する (腕時計・壁掛け時計等)	p46-④
⑤居室は整備していますか 本人の要望に合わせて、居室の位置を変えたり、居室内の環境を整備していますか		居室替えをし、ホールに近い居室へ移動する 居室内を整理整頓し、無駄な装飾を控える 居室に物を置かないようにする ベッドから布団、布団からベッドに変える 居室の模様替えをご本人と一緒にやる	p47-⑤
⑥わかりやすい表示や環境にしていますか トイレや居室のドアなどに表示をしたりして、わかりやすい環境の工夫をしていますか		トイレや居室に目印となる表札や案内板を掲示する ドアにその方の名前や便所と書いて貼る	p48-⑥
⑦光や音などの刺激を調整していますか 居室やリビングなど、日中過ごす場所の音や音楽、採光、臭いなどを適度に調整していますか		好きな音楽を流しながらゆっくりと過ごしていただく 騒音、雑音を少なく、静かな環境にする カーテンをこまめに開閉して明るさの調整をする 職員同士の会話は隣の方で静かに行う テレビはつけっぱなしにせず、音はできるだけ控えめにする	p48-⑦
⑧屋外の環境を整備していますか 施設や自宅の庭などに落ち着ける場所や歩く場所などを留意していますか		屋外に散歩できる環境を整えた 屋外に落ち着ける場所を用意した	p49-⑧

環境の調整

本人はどんな様子ですか?
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無然としている <input type="checkbox"/> いらいらしている <input type="checkbox"/> 憂鬱そう	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 肩をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ	<input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる	<input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間		

ケアをした後の本人はどんな様子ですか?
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無然としている <input type="checkbox"/> いらいらしている <input type="checkbox"/> 憂鬱そう	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 肩をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ	<input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる	<input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間		

確認するポイント	注意☆こんなケアしてませんか 気を付けてください
過去の生活習慣 : 元々、大勢でいるのが好きですか、1人の方が好きですか 席の位置 : 座る席は決まっていますか、仲の良い人の隣ですか 周囲の雰囲気や刺激 : 周りは賑やかですか、静かですか 他の高齢者との人間関係 : 仲の良い人はいますか、他の人と争いごがありますか	●本人の要望を無視して、無理やり1人にしたたり、大勢の中に入れていませんか
過去の生活習慣 : 以前は、どんなところで雰囲気落ち着きますか 席の位置 : 今の席の位置では落ち着いていますか 周囲の雰囲気や刺激 : 雑音や騒音、大きな声、まぶしかったりしませんか 他の高齢者との人間関係 : 他の高齢者とは仲が良いですか、トラブルが多いですか 職員との関係 : 職員とは仲がよいですか、なんでも話してくれますか	●イスやソファを無理やり用意したり、本人が希望していないのに畳の部屋へつれていっていませんか ●落ち着いているかどうかの確認を忘れていませんか
席の位置 : 今の席の位置では落ち着いていますか 周囲の雰囲気や刺激 : 今の席は、騒音がかったり、まぶしかったりしてませんか 他の高齢者との人間関係 : 仲の良い人の隣の席ですか、苦手な人の近くですか 職員との関係 : 仲の良い職員と近い席ですか	●本人の様子を見ずに無理やり席の位置を変えたり、仲の悪い人の隣に席を固定していませんか
過去の生活習慣 : 以前、使用していたものや馴染んだ物がありますか 周囲の雰囲気や刺激 : 今の環境には慣れていませんか、なじみの物がありますか	●本人が気に入らない物を置いていませんか ●本人の趣味や嗜好を無視して、以前使用していたものを持ち込んでいませんか ●触れたくない思い出に関わるものを使用していませんか
認知機能 : 記憶障害の程度や見当識の状態はどの程度ですか 身体機能 : 視力や聴力、歩行状態に応じた居室環境ですか 健康 : 排泄の頻度や睡眠状況、体調に応じた居室の位置や環境ですか 過去の生活習慣 : 以前の睡眠道具や状況はどのようなでしたか 周囲の雰囲気や刺激 : 居室の中は落ち着いて過ごせていますか、光や騒音などはありますか 他の高齢者との人間関係 : 隣の居室の人とは仲が良いほうですか	●本人の了解もなく、急に居室を変更していませんか ●本人と相談しないで、部屋の物をかたづけたり、勝手に色んな物を置いていませんか
認知機能 : 記憶障害の程度や見当識、理解力などを理解していますか 排泄状況 : 排泄の頻度や量、好みの方法などを把握していますか 周囲の雰囲気や刺激 : トイレや居室、廊下などにわかりやすい表示がしてありますか	●職員の目線で表示したり、本人にわかりにくい表示していませんか
過去の生活習慣 : 以前から音楽は好きですか、明るいところが好きですか 周囲の雰囲気や刺激 : テレビや音楽の音が大きくないですか、まぶしくありませんか 他の高齢者との人間関係 : 他の人と賑やかにするのが好きですか、静かなのが好きですか 職員との関係 : 職員の話し声や、動きは大きすぎませんか	●聞きたくない音楽を流していませんか ●音楽の音量は大きすぎませんか ●テレビをつけっぱなしにしていませんか ●職員同士の会話をリビングで大声でしていませんか
体調や運動量 : 体調は良好ですか、運動量は少ないですか 過去の生活習慣 : 以前から運動や身体を動かすのが好きでしたか 周囲の雰囲気や刺激 : 庭や屋外は危なくないですか	●行きたくないのに、無理やり外につれだしていませんか ●見守りもせず放っていますか

認知症介護チェック表 (詳細版)

徘徊 認知症介護チェック表(詳細版)
(コミュニケーション)

記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

【徘徊の様子】

ケア方針

- ◎徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
- ◎徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
- ◎高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

ケアの方法	確認	取り組みの参考例	解説集参照
①会話するときの内容を工夫していますか 本人の気持ちや状態に合わせて、会話の内容を考えてコミュニケーションしていますか		好きな話題(宗教、趣味、家族、昔話等)を交えながら話を 感謝したり、賞賛したり、肯定的な言葉を多用する ●1つ1つの行動をほめて、必ずありがとうと声かけを行う ●家事やレクへの参加は特にほめたりお礼をいう ●「助かります」「ありがとうございます」「教えてください」 今の心境や、歩く目的や理由についてそれとなく確認してみる 今の状況や今後の予定について説明をする ●声かけの際にさりげなく時間と場所、この後のスケジュールをお伝えする ●他の高齢者のことを説明し、理解してもらう ●居室で話を聞き不安なことについて1つずつ説明する ●筆談で紙に書いて渡して見て頂き、家の状況や入居の説明をする 本人を頼りにしていることを伝える	p51-①
②会話のペースや聴き方を調整していますか 徘徊をしているときの気持ちや状況を考え、本人に合わせたペースで会話をしていますか		否定せず、説明せず、本人の話を共感しながら、うなづいて聴く 本人が話したいときに、ゆっくりとペースを合わせて会話を 本人がわかりやすい言葉を使う できるだけ短い文で話をする	p53-②
③会話する時の環境や状況を工夫していますか 会話をする時の場所や雰囲気、本人の状態に応じて会話を状況に応じて工夫していますか		できるだけ静かな場所で、周囲の雑音がないように、1人の時にマンツーマンで話をする タイミング(行動パターン)に応じた声かけ・付き添い (●行動を把握し、徘徊しそうな直前に声をかける)	p54-③
④会話や見守りの回数や量を調整していますか 本人の状態にあわせてコミュニケーションの量を増やしたり、減らしたり調整していますか		声掛けや会話を増やしてみる (●職員が関わる時間を増やし、マンツーマンで関わるようにする) 付き添ったり、見守ったりする時間を増やしてみる (●一緒にいる時間を増やしてみる)	p54-④
⑤会話以外のコミュニケーションをしていますか ただ会話をだけでなく、そばにいてあげたり、スキンシップなど言葉以外の関わりを持っていますか		無理に会話をせず、そばに一緒にいて見守る 手に触れるなどスキンシップを行う (●手をつないで歩く時間を作る) アイコンタクトや身振りなど、言葉以外の方法を行う (●目があつたときはアイコンタクトを取ってうなづいてみる)	p55-⑤

本人はどんな様子ですか? (年 月 日 時 分時点)		ケアをした後の本人はどんな様子ですか? (年 月 日 時 分時点)	
表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> うつろ	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> うつろ	
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ <input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ <input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く	
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間	

確認するポイント		注意☆こんなケアしてませんか 気を付けてください
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	●本人の気持ちを考えずにいきなり理由をきいたりしていませんか。 ●話したくないのに、無理に理由や目的を聞いていませんか ●本人の不安を無視して、こちらの都合で無理に説明をしようとして、説得しようとしていませんか ●本人が触れたくない過去の話題を一方向的に話していませんか ●単純に、義務的に、気持ちを入れずにほめたり、お礼を機械的に繰り返していませんか ●本人が負担になるまで頼ったり、お願いしていませんか ●本人の興味のない話題や会話を、職員側が一方向的にしていますか ●事務的に日課やスケジュールを説明していませんか
過去の生活習慣	以前の関心や趣味、興味、出来事はなんですか	
職員との関係	関わる職員とは信頼関係ができていますか	
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	
過去の生活習慣	本人の会話のスピードや話し方を知っていますか	
職員との関係	職員とは信頼関係ができていますか、なんでも話してくれますか	●ただ、なんとなく、機械的にうなづいてききながしていませんか ●職員側のペースで急いで話をしていますか ●本人の話を否定したり、適当にあいづちをうっていませんか
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	●周囲がにぎやかだったり、うるさい場で話をしていませんか
周囲の雰囲気や刺激	周囲は話しやすい場所ですか、雑音や騒音はないですか	
職員との関係	職員とは話しやすい関係ですか	
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	●本人の意思と関係なく、職員側の都合で話しかけていませんか ●意味もなくたくさん話しかけていませんか ●むやみに高齢者の後を追いかけていませんか
過去の生活習慣	以前から会話をするのが好きですか、人見知りな方ですか	
職員との関係	そばにいても良い関係が築けていますか	
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	●ただ、後ろについて追いかけていませんか ●信頼関係ができていないのに、突然、手を触ったりしていませんか ●意味もなくじっとみつめたりしていませんか
過去の生活習慣	元々、人との接触を好みますか、スキンシップに抵抗はありますか	
職員との関係	スキンシップをしても良いほど信頼されていますか	

認知症介護チェック表(詳細版)

徘徊 認知症介護チェック表(詳細版)
(活動支援)

記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

【徘徊の様子】

ケア方針

- ◎徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
- ◎徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
- ◎高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

ケアの方法	確認	取り組みの参考例	解説集参照
①生活に関連した活動を行っていますか 生活の中で行っていた活動を現在も行っていきますか		軽作業(家事、炊事、家仕事)を定期的に役割とする 以前していた仕事や日課を継続して行う <ul style="list-style-type: none"> ●家事や炊事を手伝ってもらい、定期的にお願ひする ●植木の管理や水やりを日課としてお願ひする ●犬や金魚などペットのお世話をお願ひする リーダー役や指導的な役割を任せる <ul style="list-style-type: none"> ●職員に料理を教えてもらう ●将棋指導のボランティアをお願ひする ●誕生日会や唄の会、帰りの会、帰宅前のしめなどのあいさつ等を頼む ●学校の先生をしていたのでケアカンファレンスで話をしてもらう 	p56-①
②趣味活動がありますか 本人が好きな活動や趣味を現在も行っていきますか		自宅で以前していた趣味活動を続ける 好きな活動(書道、生け花、読書、テレビ、音楽等)を行う <ul style="list-style-type: none"> ●墨絵をしてもらう ●歌を一緒にうたう ●針仕事をもらう ●雑誌や新聞、読書をしてもらう ●好きな映画をみってもらう 体操、レクリエーションへの参加を促す <ul style="list-style-type: none"> ●毎日ラジオ体操を一緒に行う ●皆で簡単なゲームを行う 	p57-②
③外出の機会がありますか 外出をする機会や屋外での活動を行っていますか		屋外のレクや行事、活動(散歩、ドライブ、食事等)に参加する 行きたい場所や好きな場所へ見守りながら外出する <ul style="list-style-type: none"> ●近所のスーパーへ一緒に買い物に行く ●近所の公園まで一緒に散歩に行く ●一緒に自宅へ帰ってみる ●車でドライブに行く ●地域の夏祭りに参加する 	p58-③

本人はどんな様子ですか?
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 肩をひそめている <input type="checkbox"/> 肩にしわをよせている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ	<input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ	<input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間		

ケアをした後の本人はどんな様子ですか?
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 肩をひそめている <input type="checkbox"/> 肩にしわをよせている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ	<input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ	<input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間		

確認するポイント		注意☆こんなケアしてませんか 気を付けてください
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	<ul style="list-style-type: none"> ●以前から全くしていない活動を無理強いしてお願ひしていませんか ●本人の興味が無いことを無理にお願ひしていませんか ●ゆっくりと休んでいきたいのに強制していませんか ●信頼関係ができていないのに、お願ひしていませんか ●他の高齢者との関係が良くないのに、リーダー役などをお願ひしていませんか ●体調がよくないのに強制していませんか ●義務的な仕事になっていませんか ●本人のやりがいにつながっていない労働になっていませんか ●お願ひしっぱなしで、感謝もせず、お礼もいわず、本人の負担になっていませんか ●一時的な活動で終わっていませんか
体調	健康状態は良好ですか、疲れはないですか	
過去の生活習慣	以前、自宅で行っていた日課や仕事、役割はなんですか	
職員との関係	職員とは信頼関係ができていますか	
他の入居者との関係	他の入居者との関係性はどうか、どんな存在ですか	<ul style="list-style-type: none"> ●本人の興味のない活動になっていませんか ●強制的になって、本人は困っていませんか ●その時は楽しそうに参加していてもつかれていませんか ●仲の悪い人と一緒に活動していませんか ●義務的な活動になっていませんか
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	
体調	健康状態は良好ですか、疲れはないですか	
運動量	運動量は足りていますか、体力はある方ですか	
過去の生活習慣	以前からの趣味や興味、特技はなんですか	<ul style="list-style-type: none"> ●体力に無理はありませんか ●無理な活動量になっていませんか ●信頼関係のできていない職員がつきそっていませんか ●混乱はありませんか
職員との関係	職員との関係は良好ですか	
他の入居者との関係	他の高齢者との関係は良好ですか、みんなで活動するのは好きですか	
認知機能	記憶障害の程度や理解力はどうか	
体調	体調は良好ですか、疲れはないですか	<ul style="list-style-type: none"> ●体力に無理はありませんか ●無理な活動量になっていませんか ●信頼関係のできていない職員がつきそっていませんか ●混乱はありませんか
運動量	運動量は足りていますか、体力はある方ですか	
職員との関係	職員とは信頼関係ができていますか	

認知症介護チェック表 (詳細版)

徘徊 認知症介護チェック表(詳細版)
(身体ケア・ケア体制)

記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

【徘徊の様子】

ケア方針

- ◎徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
- ◎徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
- ◎高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

ケアの方法	確認	取り組みの参考例	解説集参照
身体面のケアはしていますか 体調の管理、疾病の管理、食事、入浴、排泄など身体面のケアはしていますか		①医療相談、処置の実施 ●医師に相談し、医療的な指導をもらう ●内服薬や投薬の調整を行う ●痛みの確認をし処置を行う	p60-①
		②食事、食欲支援 ●制限カロリー内で、食事を増やす ●暖かいお茶や、好きな食べ物を用意する ●間食を増やし、満足感を得てもらう ●制限カロリー内でおやつや果物を摂ってもらう ●職員も一緒に食事をする	p61-②
		③水分の補給をこまめに行う	
		④排泄支援 (排便調整、誘導等) ●失禁を防ぐため、排泄リズムに応じてさりげなく誘導する ●排便調整を行う	p62-③
		⑤睡眠の改善、調整 ●日中の覚醒水準を上げ夜間の睡眠の質を深くする ●日中の活動をふやし、眠そうなときは散歩に誘う	p63-④
		⑥入浴を促したり、回数を増やしてみる	p64-⑤
		⑦視力を確認し、メガネを調整する	p64-⑥
		⑧補聴器を使用したり、聴力を確認する	
		⑨カロリーを調整し、体重の管理を行う	p65-⑦
チームケアはしていますか 職員間でケアの方法を統一していますか		⑩職員間でケアの方法を統一する ●職員同士で情報交換を密にするため、カンファレンスを頻繁に行う ●ケア方法を統一するため、ケアプランやアセスメントを共有する	p70-①
		⑪関わる職員の調整を行う ●関わる職員を異性にする ●関わる職員を信頼関係ができていない職員にする ●担当を変えずに、専属の職員が関わる	p71-②

本人はどんな様子ですか? (年 月 日 時 分時点)		ケアをした後の本人はどんな様子ですか? (年 月 日 時 分時点)	
表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉をひそめている <input type="checkbox"/> 無然としている <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> いらいらしている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 憂鬱そう <input type="checkbox"/> 青白い <input type="checkbox"/> うつろ	表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉をひそめている <input type="checkbox"/> 無然としている <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> いらいらしている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 憂鬱そう <input type="checkbox"/> 青白い <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている <input type="checkbox"/> 動かない	しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている <input type="checkbox"/> 動かない
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 叫ぶ <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く	発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 叫ぶ <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間	回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間

確認するポイント		注意☆こんなケアしてませんか 気を付けてください
認知機能や症状	認知機能や症状は悪化していませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●医師の診察を受けずにそのままにしていますか ●痛みが気づかずそのままにしていますか ●食事量や水分量を把握せず、栄養失調や脱水状態になっていませんか ●服薬を本人任せにしていますか ●便秘が続いていませんか ●日中に動かず、夜中に起きだして睡眠不足になっていませんか ●入浴の回数が少なくないですか ●メガネは本人にあっていますか ●補聴器はこわれていませんか ●運動しすぎでつかれていませんか ●病気を見逃していませんか
体調	体調は良好ですか	
既往歴	以前からの病気は把握していますか	
排泄状況	最近の排泄状況は良好ですか	
水分摂取量	水分は不足していませんか、脱水になっていませんか	
視力、聴覚機能	しっかり見えていますか、聞こえていますか	
体重	体重は減っていませんか、増えすぎていませんか	
運動量	運動量は不足していませんか	
睡眠時間	睡眠時間は不足していませんか、日中ねむりがちではありませんか	
痛み	どこか痛がっていませんか、がまんしていませんか	
かゆみ	しょっちゅう身体をかいていませんか	
投薬状況	現在の薬は適切ですか、処方どおり服薬できていますか	
幻覚	幻視や幻聴がありませんか	
せん妄	意識がはっきりしていますか、突然大声をだしたりしていませんか	
認知機能	認知機能の状態は把握していますか	
過去の生活習慣	過去の生活習慣を把握していますか	
職員との関係	職員との関係は良好ですか	
職員の関わり方	職員の関わり方にばらつきはありませんか、同じ方法で関わっていますか	

認知症介護チェック表(詳細版)

徘徊 認知症介護チェック表(詳細版)
(人間関係調整)

記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

【徘徊の様子】

ケア方針

- ◎徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
- ◎徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
- ◎高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

ケアの方法	確認	取り組みの参考例	解説集参照
①他の入居者との関係調整はしていますか 他の高齢者との関係を把握して、関係性に合わせて調整を行っていますか		他的高齢者に支援をお願いする [●他的高齢者が話を聞いてあげる ●他的高齢者に事情を説明し理解してもらう] 仲の悪い人と関わらないようにする [●仲の悪い人との間に職員が入って、関係を調整する ●トラブルがあった高齢者と一時的に距離をおいてもらう] 仲の良い人と一緒に過ごせるようにする [●仲の良い人と過ごす時間を増やした ●話のあう方と一緒にすごせるよう食事する際等、居間の席を調整する] 他的高齢者との関わりを増やし、交流を促す [●5名程度の小グループの中で顔なじみの関係を作る ●会話のできる利用者を同居室にし、コミュニケーションを取りやすくする ●穏やかな認知症の方と時々話しをしていただける場を作る] 近所の人や、地域の方との交流を促す [●以前からの知人に、面会してもらう ●隣近所の方のお茶飲み会に参加する]	p66-①
②家族との関係を調整していますか 家族との連絡や交流機会を調整して、家族との関係を支援していますか		家族との連絡調整(手紙等) [●家族に手紙を書いてもらう ●家族に手紙を書く ●日々の様子を常に家族に伝える] 家族(お墓、位牌)との接触機会調整(面会、訪問、電話等) [●直接、家族に電話して話ができるようにする ●家族に面会に来てもらう ●家族との面会を減らす ●家族(お墓、位牌)に会いに行く ●週に一度、面会時、家族と一緒に外出する]	p68-②

本人はどんな様子ですか?
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 肩をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ	<input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ	<input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間		

ケアをした後の本人はどんな様子ですか?
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 肩をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> 叫ぶ	<input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ	<input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間		

確認するポイント		注意☆こんなケアしてませんか 気を付けてください
認知症の症状	認知症による症状は落ち着いていますか	<ul style="list-style-type: none"> ●他的高齢者との関係を無視していませんか ●最近の高齢者同士のコミュニケーションや関わりの様子を見逃していませんか ●関係性を無視してグループを作っていませんか ●仲の悪い人や、最近トラブルのあった人と隣の席にしていますか ●高齢者同士でもめごとがあってもほうっておいていませんか ●本人が落ち着かないときに無理に、他的高齢者と関わらせようとしていますか ●あまり親しくない人と話をさせようとしていませんか
過去の生活習慣	親しい近所の方や知人、友人はいますか	
席の位置	今の席の位置は仲の良い人に囲まれていますか	
職員との関係	職員とは信頼関係ができていますか	
他の入居者との関係	他の入居者との関係性はどうか	
認知症の症状	認知症の症状は落ち着いていますか	<ul style="list-style-type: none"> ●家族との面会を意味もなく頻りに増やしていませんか ●過去の家族との関係性を把握せずに家族との関わりを増やしていませんか ●会いたくない家族と話をさせていませんか ●全く家族との連絡をしないようにしていませんか
過去の生活習慣	以前からの家族との関わり方はどのようでしたか	
職員との関係	職員との関係は良好ですか	
家族関係	家族との関係性は良好ですか、どのような関係ですか	

「興奮・暴力」「帰宅願望」のチェック表については、別冊「続 初めての認知症介護解説集 ～徘徊、興奮・暴力、帰宅願望編～」に同封していますので参照してください。
また、認知症介護チェック表は、認知症介護情報ネットワーク dcnet (<http://www.dcnet.gr.jp>) の「学習支援情報」よりダウンロードすることができます。

2 認知症介護 初心者の特徴

初心者への教育を行う上で、初心者の特徴的な認知症介護の傾向を知ることが必要です。

■ 初心者の特徴まとめ



特徴

1

自分の介護を評価できない
(自己評価力の低さ)

●自分の介護を評価する基準が備わっていない

認知症介護が上手な経験者は、常に自分の行った介護を振り返って、良かったのか悪かったのかを判断することができます。それは、経験者ほど自分が行っていることを客観的にみることができるからです。また、自分の中に良い介護と悪い介護の基準を持っているからです。それに対して、初心者や未経験者は、自分が行っている介護を客観的にみることが難しく、良し悪しを判断する基準も明確には持っていない傾向があります。

特徴

2

具体的な悪いケアモデルを持っていない

●自分の介護行為が不適切なのかどうか判断できない

経験者が介護の良し悪しを判断できるのは、良い介護方法を知っているだけでなく、悪いケア方法を具体的に知っているからです。良いケアを判断するためには悪いケア方法を知る必要があります。初心者や未経験者は、明らかに悪いケア方法は知っていますが、判断が難しい不適切なケア方法をあまり知りません。

特徴

3

BPSDへの対応方法が分からない(技術力の低さ)

●目の前の状況に対して、具体的なケア方法の引き出しがない

経験者と未経験者のケアの違いは、ケアの成功率の差です。経験者は長年の経験によって状況に応じたケア方法の引き出し、つまり選択肢を豊富に持っています。たくさんのケア方法の選択肢の中から、状況に即した成功率の高い方法を選ぶことができます。一方、初心者あるいは未経験者は頭ではわかっている、身体が動きません。具体的にどのように動けばよいかを身体で覚えていませんから、ケアの方法に関する選択肢が少なく実行できる方法が限られています。

特徴

4

高齢者を見ていない

●高齢者の状態をみることや、見方が分からない

経験者が良いケアと悪いケアの判断基準を持っているのは、常に高齢者の表情や行動、しぐさ、体調、気持ちなどを見ているからです。経験の中で表情が良くなった、安心している、落ち着いているなど、高齢者の状態が良くなった時のケア方法や悪くなった時のケア方法を覚えていきます。初心者は、高齢者の表情は見えますが、目に見えていることだけ見ていたり、細かくはみることはできず、自分のケアに夢中で高齢者を見ることまで余裕がありません。また、高齢者の何を見たらよいかのかわかりません。

4 認知症介護チェック表の使い方

使い方 ① 認知症介護チェック表（要約版）

認知症介護チェック表（要約版）は、初任者の方々が自分のケアを振り返り、アセスメントの視点やケアの考え方、ケアの方法について簡易に網羅的にチェックするための自己チェック式のシートになっています。

ケア方針、ケアのポイント、ケアの方法例、してはいけないケア方法、確認するポイントなどが記載されており、現在実施しているケア方法や視点について自分で確認するためのA3（1枚）のシートになっています。実施しなければならないケア全てについて網羅し、1枚のシートでケア全体をチェックすることができます。

☑ チェック表

- 徘徊事例 ● 興奮・暴力事例
- 帰宅の願望事例

へのケアチェック表の3種類があります。

☑ チェック表の構成

どの事例でも、

- ①基本項目とケア方針、②事前評価
- ③ケアポイントとケア例、
- ④不適切ケア例、⑤アセスメントの視点、
- ⑥事後評価

から構成されています。

①～⑥までを順番に確認、記入していきます、毎日繰り返すことで基本的なケア方針、具体的なケアの方法、不適切なケアの方法、アセスメントの視点、ケアを評価する際のポイントが網羅的に身につくようになっていきます。



認知症介護チェック表（要約版）A3版1枚 徘徊

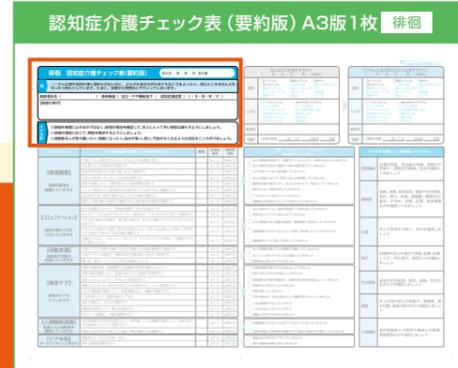


①基本項目とケア方針		②事前評価		⑥事後評価	
③ケアポイントとケア例		④不適切ケア例		⑤アセスメントの視点	

使い方 ①

認知症介護チェック表（要約版）

① 基本項目とケア方針



基本項目とケア方針は、記入日や記入者名、対象となる高齢者の氏名、身体機能や認知症重症度、行動の様子など基本的な項目と、基本的に必要な方針の視点に関する確認項目が設けられています。

徘徊 認知症介護チェック表(要約版) 記入日 年 月 日 記入者

例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

b 高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

c 【徘徊の様子】

d **ケア方針**

- 徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
- 徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
- 高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

㉑ 記入者氏名・記入日

チェック表を使用する人の氏名と記入日を記入してください。

㉒ 高齢者の属性

対象となる高齢者の氏名と身体障害の程度、認知症の重症度について記入してください。

*身体の障害がほとんどなく身体機能が自立している場合は「自立」、何らかの障害や身体機能の低下が認められる場合は「やや機能低下」となります。
*認知症の重症度は、下記を参考に該当する番号に○をつけてください。

㉓ 本人の様子

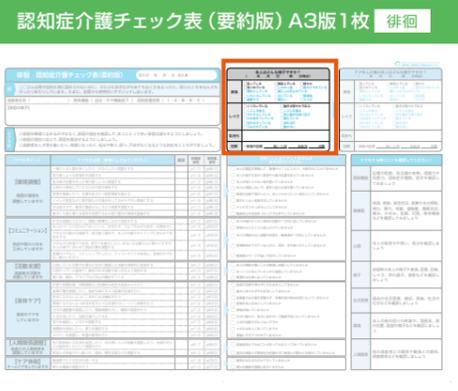
徘徊、興奮・暴力、帰宅願望に関する行動について、例を参考に、その時の高齢者の行動の状態を具体的に記入してください。

㉔ ケア方針

徘徊、興奮・暴力、帰宅願望に関するケアの目標です。これらの方針に従ってケアを行うよう心がけてください。方針は複数記載されていますが、全ての要件を満たしたケアを実施してください。1つでも方針が満たされなかった場合は、すぐに不適切なケアになるおそれがありますので注意してください。

- I…「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」
- II…「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても（たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理等それまでできたことにミスが目立つ、服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応等一人で留守番ができない等）、誰かが注意していれば自立できる」
- III…「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ（着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等）介護を必要とする」
- IV…「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」
- V…「著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ（せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神状況に起因する問題行動が継続する状態等）専門医療を必要とする」

② 事前評価



本人はどんな様子ですか？
(年 月 日 時 分時点)

表情

<input type="checkbox"/> 笑っている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる	<input type="checkbox"/> 穏やか
<input type="checkbox"/> 見つめている	<input type="checkbox"/> しかめっ面	<input type="checkbox"/> 眉をひそめている
<input type="checkbox"/> 無然としている	<input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている	
<input type="checkbox"/> いらいらしている	<input type="checkbox"/> 泣いている	<input type="checkbox"/> 無表情
<input type="checkbox"/> 憂鬱そう	<input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> うつつ

しぐさ

<input type="checkbox"/> くつろいでいる	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである
<input type="checkbox"/> こぶしを握る	<input type="checkbox"/> こぶしを握る
<input type="checkbox"/> そわそわしている	<input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す
<input type="checkbox"/> ため息をついている	<input type="checkbox"/> 震えている
<input type="checkbox"/> 足をゆすっている	<input type="checkbox"/> 涙を流す
<input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動かない

気持ち

回数 ・徘徊の回数 回 / 1日 分おき 分間

チェック表で確認する前、つまりケアを実施する前の高齢者の状態を評価する項目です。毎日、ケアを実施する前に高齢者の表情やしぐさ、気持ちを確認します。

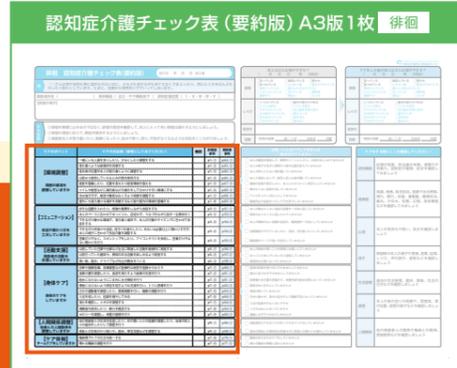
㉕ ケア実施前の本人の状態

- 観察した年月日と時間を記入します。
- 表情について、該当するもの全てにチェックをします。該当する表情がない場合は、自分で記入してください。
- しぐさについて該当するもの全てにチェックをします。該当するしぐさがない場合は、自分で記入してください。
- 気持ちについて、高齢者本人がどんな気持ちなのかを本人に聞いたり、様子から推測して、書いてください。
- 回数については、現在、該当する行動が1日に何回くらいあるのか、おおよそ何分おきくらいにあるのか、1回あたりにどれくらいの時間続いているのかを記入してください。



使い方 ①

認知症介護チェック表（要約版）



③ ケアポイントとケア例

認知症ケアで必ず必要なポイントと、具体的なケアの方法例が示されていますので、現在行っているケアあるいは、その日に行ったケアを振り返ってチェックします。

ケアのポイント	ケアの方法例（参考してみてください）	確認	詳細版参照	解説集参照
f 【環境調整】 周囲の環境を調整していますか	一緒にいる人数を多くしたり、少なくしたり調整をする		p1-①	p44-①
	落ち着くような居場所を用意する		p1-②	p45-②
	座席の位置を本人の落ち着くように調整する		p1-③	p46-③
	以前から使用していたなじみの物を使用する		p1-④	p46-④
	居室を整備したり、位置を変えたり居室環境を整える		p1-⑤	p47-⑤
	トイレや居室などに案内板などの表示をして分かりやすい環境にする		p1-⑥	p48-⑥
	光は強すぎず、雑音や騒音はなくすよう刺激を調整する		p1-⑦	p48-⑦
屋外にも落ち着ける場所を用意するなど庭や屋外の環境を整備する		p1-⑧	p49-⑧	
【コミュニケーション】 会話や関わり方を工夫していますか	好きな話題を入れたり、感謝や賞賛をしながら会話をする		p3-①	p51-①
	本人のペースに合わせてゆっくりと、否定せず、うなづきながら話を一生懸命さく		p3-②	p53-②
	できるだけ静かな環境で、落ち着く場所で、本人の行動やタイミングに合わせて会話を		p3-③	p54-③
	できるだけ声掛けや会話、見守りを増やしたり、あるいは必要以上に関わりすぎず、本人の様子に合わせて会話の量を調整する		p3-④	p54-④
	言葉だけでなく、スキンシップをしたり、アイコンタクトを多用し、言葉だけではない関わりを行う		p3-⑤	p55-⑤
【活動支援】 高齢者の活動を支援していますか	以前していた日課や仕事など生活に関連した活動を継続的に実施する		p5-①	p56-①
	以前行っていた趣味や、興味のある活動を楽しめるよう実施する		p5-②	p57-②
	買い物、散歩、ドライブなど外出の機会をつくる		p5-③	p58-③
【身体ケア】 身体のケアをしていますか	診察や服薬指導、投薬調整など医療的助言を医師からもらう		p7-①	p60-①
	食事の量を調整したり、食欲を満たすよう食事の支援を行う		p7-②	p61-②
	脱水にならないようこまめに水分補給を行う		p7-③	p61-②
	便秘にならないよう排便を促すような支援を行い、トイレ誘導を行う		p7-④	p62-③
	日中の運動量を調整したり、意識覚醒を行い、睡眠の調整を行う		p7-⑤	p63-④
	入浴を促したり、回数を増やしてみる		p7-⑥	p64-⑤
	視力を確認し、メガネを調整する		p7-⑦	p64-⑥
	補聴器を使用したり、聴力を確認する		p7-⑧	p64-⑥
	カロリーを調整し、体重の管理を行う		p7-⑨	p65-⑦
【人間関係調整】 他者との人間関係を調整していますか	他の高齢者との交流を促進したり、仲の悪い人との距離を調整したり、地域の知人との面会をしたりして調整を行う		p9-①	p66-①
	家族との手紙のやり取りや、面会、帰宅支援などを調整する		p9-②	p68-②
【ケア体制】 チームケアをしていますか	職員間でケアの方法を統一する		p7-⑩	p70-①
	関わる職員の調整を行う		p7-⑪	p71-②

f ケアのポイント

必ずしなければならないケアの視点を書いていますので、現在行っているかどうかを確認してください。

g ケアの方法例

ケアのポイントについて、実際に行うべきケアの方法例が書いてありますので、現在実施しているケアと比べて、実施しているか実施していないかを確認してください。あくまでも例ですので、慎重に検討して、高齢者の状態を見ながら適切にならないように気をつけてください。

*なお、取り組み例は、平成24年度に実施された成功事例調査の結果を整理したものを中心に記載しています。実際に介護現場において、徘徊や興奮・暴力、帰宅願望を解消した方法や視点を例として記載していますので、必ずしも全ての事例で実施できる方法ではないかもしれません。例として皆さんの施設や事業所の状況に応じて参考にしてください。

h 確認

現在実施しているケアがあれば、確認欄に✓を記入してください。また、実施していないケアがあれば×を記入してください。

i 詳細版参照

ケア方法の例についてさらに詳細な方法の例を記載しているので、「詳細版参照」欄のページ番号と項目番号を参考に、「認知症介護チェック表（詳細版）」を確認してください。

j 解説集参照

ケア方法の例について解説をしていますので、「解説集参照」欄のページ番号と項目番号を参考に、解説集の該当ページを確認してください。

使い方 ①

認知症介護チェック表（要約版）

4 不適切ケア例

注意☆こんなケアしてませんか
気を付けてください

- 本人の要望を無視して、無理やり1人にしたり、大勢の中に入れていませんか
- 本人の様子を見ずに無理やり席の位置を変えていませんか
- 本人が気に入らない物を置いていませんか
- 本人と相談しないで、勝手に色んな物を置いていませんか
- 職員の間で表示したり、本人にわかりにくい表示していませんか
- 聞きたくない音楽を流していませんか
- テレビをつけっぱなしにしていませんか
- 職員同士の会話をリビングで大声でしていませんか

- 本人が触れたくない過去の話題を一方的に話していませんか
- 意味もなくたくさん話しかけていませんか
- 本人の興味のない話題や会話を、職員側が一方的に話していませんか
- 信頼関係ができていないのに、突然、手を触ったりしていませんか
- 職員側のペースで急いで話を話していませんか

- 本人の興味が無いことを無理にお願いしていませんか
- ゆっくりと休んでほしいのに強制的にいませんか



ケアのポイントごとに、初心者が行いやすい不適切なケアの方法例を記載していますので、自分がおこなっていないかを左側の□にチェックして確認してください。もし該当する項目がある場合は、左のケアの方法例を参考にケアの方法を改善してみてください。

*すべての例を記載しているわけではありません。
不適切なケアの方法例を参考に各自で考えてみてください。

6 事後評価

ケアをした後の本人はどんな様子ですか？
(年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> 無然としている <input type="checkbox"/> いらいらしている <input type="checkbox"/> 憂鬱そう	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 眉をひそめている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> 動かない	
気持ち			
回数	・徘徊の回数 ____ 回 / 1日 ____ 分おき ____ 分間		

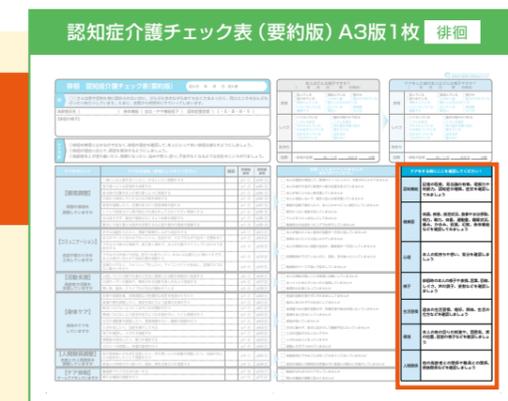


ケアを実施した直後に、表情やしぐさ、気持ち、回数など高齢者の様子がどうなったかについて確認をするよう心がけてください。

5 アセスメントの視点

ケアをする時にここを確認してください！

認知機能	記憶の程度、見当識の有無、理解力や判断力、認知症の種類、症状を確認してみましょう
健康面	体調、疾患、排泄状況、食事や水分摂取、視力、聴力、体重、運動量、睡眠状況、痛み、かゆみ、投薬、幻覚、身体機能などを確認してみましょう
心理	本人の気持ちや想い、気分を確認しま



徘徊、興奮・暴力、帰宅願望の原因やケアを行う上で知っておかなければならない情報が書いてあります。なぜ歩き回っているのか、なぜ興奮しているのか、なぜ帰りたいと何回も訴えるのかなどの原因を考える際にこれらの視点を参考にしてください。

- 観察した年月日と時間を記入します。
- しぐさについて該当するもの全てにチェックします。該当するしぐさがない場合は、自分で記入してください。
- 気持ちについて、高齢者本人がどんな気持ちなのかを本人に聞いたり、様子から推測して、書いてください。
- 回数については、現在、該当する行動が1日に何回くらいあるのか、おおよそ何分おきくらいにあるのか、1回あたりにどれくらいの時間続いているのかを記入してください。そして、ケア実施前の様子とケア実施後の様子を比較してみてください。表情やしぐさは変化しましたか。気持ちは変わっていますか。回数は減っていますか。常に、ケアを実施したあとの高齢者の様子や変化を記録するようにこころがけてください。

使い方 ② 認知症介護チェック表(詳細版)

認知症介護チェック表(詳細版)は、要約版「ケアポイントとケア例」に記載している「環境調整」「コミュニケーション」「活動支援」「身体ケア」「人間関係調整」「ケア体制」の6つのケアのポイントごとに、A3サイズ1枚、全5枚のシート(身体ケアとケア体制は1枚)になっており、より詳細にケアの方法をチェックできるようになっています。要約版で全体をチェックし、さらに詳細なケア方法をチェックしたい場合に使用します。



チェック表

チェック表(詳細版)も要約版と同様に
● 徘徊事例 ● 興奮・暴力事例
● 帰宅の願望事例
へのケアチェック表の3種類があります。

推奨される確認項目の順番は①～⑥までを順番に確認、記入していき、毎日繰り返すことでより詳細なケアの方法やアセスメント視点、不適切なケア方法が身につくようになっています。

チェック表の構成

要約版とほぼ同じになっており、

- ①基本項目とケア方針、②事前評価、③ケア方法と具体例、④アセスメントの視点、⑤不適切なケア、⑥事後評価 から構成されています。

詳細版の特徴は、要約版のケアポイントごとにチェックシートがあり、

要約版の「g.ケアの方法例」ごとにさらに具体的な方法の例が確認できるようになっている点です。また、「④アセスメントの視点」「⑤不適切なケア」もケア方法ごとの確認項目となっています。

認知症介護チェック表(詳細版) A3版 p.10× 徘徊 興奮・暴力 帰宅願望

①基本項目とケア方針 → ②事前評価 → ③ケアの方法と具体例 → ④アセスメントの視点 → ⑤不適切なケア → ⑥事後評価

使い方 ②

認知症介護チェック表(詳細版)



1 基本項目とケア方針

基本項目とケア方針は、記入日や記入者名、対象となる高齢者の氏名、身体機能や認知症重症度、行動の様子など基本的な項目と、基本的に必要な方針の視点に関する確認項目が設けられています。

a 徘徊 認知症介護チェック表(詳細版) (環境調整) 記入日 年 月 日 記入者

b 例 ○○さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらあてもなくさまよったり、同じところをなんども行ったり来たりしています。たまに、玄関から突然外にでていってしまいます。

c 高齢者氏名 () 身体機能 (自立・やや機能低下) 認知症重症度 (I・II・III・IV・V)

d 【徘徊の様子】

e ケア方針
 ◎徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人にとって辛い徘徊は減らすようにしましょう。
 ◎徘徊の理由に応じて、原因を解決するようにしましょう。
 ◎高齢者本人が落ち着いたり、笑顔になったり、悩みや焦り、怒り、不安がなくなるような対応をこころがけましょう。

a チェックシートの種類

要約版の「環境調整」「コミュニケーション」「活動支援」「身体ケア」「人間関係調整」「ケア体制」の6つのケアポイントのうち、必要なものを選んでください。

b 記入者氏名・記入日

チェック表を使用する人の氏名と記入日を記入してください。

c 高齢者の属性

対象となる高齢者の氏名と身体障害の程度、認知症の重症度について記入してください。

*身体の障害がほとんどなく身体機能が自立している場合は「自立」、何らかの障害や身体機能の低下が認められる場合は「やや機能低下」となります。
 *認知症の重症度は、右記を参考に該当する番号に○をつけてください。

- I…「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」
- II…「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても(たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理等それまでできたことにミスが目立つ、服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応等一人で留守番ができない等)、誰かが注意していれば自立できる」
- III…「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ(着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等)介護を必要とする」
- IV…「日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする」
- V…「著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ(せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等)専門医療を必要とする」

d 本人の様子

徘徊、興奮・暴力、帰宅願望に関する行動について、例を参考に、その時の高齢者の行動の状態を具体的に記入してください。

e ケア方針

徘徊、興奮・暴力、帰宅願望に関するケアの目標です。これらの方針に従ってケアを行うよう心がけてください。
 方針は複数記載されていますが、全ての要件を満たしたケアを実施してください。1つでも方針が満たされなかった場合は、すぐに不適切なケアになるおそれがありますので注意してください。

2 事前評価



f 本人はどんな様子ですか?
 (年 月 日 時 分時点)

表情	<input type="checkbox"/> 笑っている	<input type="checkbox"/> 微笑んでいる	<input type="checkbox"/> 穏やか
	<input type="checkbox"/> 見つめている	<input type="checkbox"/> しかめっ面	<input type="checkbox"/> 眉をひそめている
	<input type="checkbox"/> 憔悴としている	<input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている	
	<input type="checkbox"/> いらいらしている	<input type="checkbox"/> 泣いている	<input type="checkbox"/> 無表情
	<input type="checkbox"/> 曇るそう	<input type="checkbox"/> 青白い	<input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる	<input type="checkbox"/> 動作が軽やかである	
	<input type="checkbox"/> こぶしを握る	<input type="checkbox"/> こぶしを握る	
	<input type="checkbox"/> そわそわしている	<input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す	
	<input type="checkbox"/> ため息をついている	<input type="checkbox"/> 震えている	
	<input type="checkbox"/> 足をゆすっている	<input type="checkbox"/> 涙を流す	
	<input type="checkbox"/> うなだれている	<input type="checkbox"/> 動かない	

回数 ・徘徊の回数 ____ 回 / 1日 ____ 分おき ____ 分間

チェック表で確認する前、つまりケアを実施する前の高齢者の状態を評価する項目です。毎日、ケアを実施する前に高齢者の表情やしぐさ、気持ちを確認します。

f ケア実施前の本人の状態

- 観察した年月日と時間を記入します。
- 気持ちについて、高齢者本人がどんな気持ちなのかを本人に聞いたり、様子から推測して、書いてください。
- 回数については、現在、該当する行動が1日に何回くらいあるのか、おおよそ何分おきくらいにあるのか、1回あたりにどれくらいの時間続いているのかを記入してください。
- 表情について、該当するもの全てにチェックをします。該当する表情がない場合は、自分で記入してください。
- しぐさについて該当するもの全てにチェックをします。該当するしぐさがない場合は、自分で記入してください。

使い方 ②

認知症介護チェック表（詳細版）

③ ケアの方法と具体例（詳細版のみ）

徘徊事例の介護チェック表（要約版）【コミュニケーション】

【コミュニケーション】 会話や関わり方を工夫していますか	好きな話題を入れたり、感謝や褒めをしながら会話をする	p3-①	p51-①
	本人のペースに合わせてゆっくり、否定せず、うなづきながら話を一生懸命聞く	p3-②	p53-②
	できるだけ静かな環境で、落ち着ける場所、本人の行動やタイミングに合わせて会話をし	p3-③	p54-③
	できるだけ声掛けや会話、目守本人の様子に合わせて会話をし	p3-④	p54-④
	言葉だけでなく、スキンシップやアイコンタクトを多用し、言葉だけではない関わりを行う	p3-⑤	p55-⑤



徘徊事例の介護チェック表（詳細版）【コミュニケーション】

ケアの方法	確認	取り組みの参考例	解説集参照
g ①一緒にいる人数の調整をしていますか 本人の要望や気持ちに合わせて、1人で過ごせる場所や時間を意識したり、あるいは大勢で過ごせるような場所づくりをしていますか		1人で過ごせる場所や時間をつくる 1人せず、大勢でいる場所をつくる 一緒に食べる人数を少なくしたり、あるいは大勢で食べる 趣味活動を大勢で行ったり、少人数で行う	i
h ②落ち着いて過ごせる場所を用意していますか 本人の要望や気持ちに合わせて落ち着ける場所づくりをしていますか		落ち着いて会話ができる場所を用意する 落ち着いて座れる椅子やソファを用意する 畳やこたつなどがある場所を用意する みんなが集まる場所で過ごしてもらおう リビング以外にも、少し離れたところの小さなテーブルとイスを用意する	p45-② j
③座る席の位置を調整していますか 座る席の位置を専用にしたたり、あるいは気分によって自由に選んでもらったりしていますか		リビングの座席を変更する リビングに専用の席を作る 席をあえて固定化せず、自由に選んでもらおう	
④なじみのものを使用していますか		居室に自宅で使用していたものや、写真等を持ち込んでもらう 自宅と同じ芳香剤を置いてみる	



要約版のケアの方法例ごとに、具体的なケアの方法例が示されていますので、現在行っているケアあるいは、その日に行ったケアを振り返ってチェックします。

g ケアの方法

要約版のケアの方法例ごとに確認のポイントが示されています。現在行っているかどうかを確認してください。

h 確認

現在実施しているケアがあれば、確認欄に✓を記入してください。また、実施していないケアがあれば×を記入してください。

i 取り組みの参考例

ケアの方法について、実際に行うべきケアの具体例が書いてありますので、現在実施しているケアと比べて、実施しているか実施していないかを確認してください。また、参考になる方法があれば参考に実施してください。

あくまでも例ですので、慎重に検討して、高齢者の状態を見ながら不適切にならないように気をつけてください。

*なお、記載されている方法例は、必ずしも全ての事例で実施できる方法ではないかもしれません。施設や事業所の状況に応じて参考にしてください。

j 解説集参照

ケアの方法例について解説をしていますので、「解説集参照」欄のページ番号と項目番号を参考に、該当ページを確認してください。

④ アセスメントの視点

徘徊、興奮・暴力、帰宅願望の原因やケアを行う上で知っておかなければならない情報がケアの方法ごとに書いてあります。ケアを実施する上で必要な情報ですので確認してください。また、なぜ歩き回っているのか、なぜ興奮しているのか、なぜ帰りたいと何回も訴えるのかなどの原因を考える際に、これらの視点を参考にしてください。



確認するポイント

過去の生活習慣	元々、大勢でいるのが好きですか、1人の方が好きですか
席の位置	座る席は決まっていますか、仲の良い人の隣ですか
周囲の雰囲気や刺激	周りは賑やかですか、静かですか
他の高齢者との人間関係	仲の良い人はいますか、他の人と争いごがありますか

⑤ 不適切なケア

注意☆こんなケアしてませんか
気を付けてください

- 本人の要望を無視して、無理やり1人にしたり、大勢の中に入れてませんか
- イスやソファを無理やり用意したり、本人が希望していないのに畳の部屋へつれていってませんか
- 落ち着いているかどうかの確認を忘れていませんか
- 本人の様子を見ずに無理やり席の位置を変えたり、仲の悪い人の隣に席を固定していませんか
- 本人が気に入らない物を置いていませんか

ケアの方法ごとに、初心者が行いやすい不適切なケアの方法例を記載していますので、自分がおこなっていないかを確認してください。もし該当する項目がある場合は、左のケアの方法例を参考にケアの方法を改善してみてください。
*すべての例を記載しているわけではありません。不適切なケアの方法例を参考に各自で考えてみてください。



4 認知症介護チェック表の使い方

4 認知症介護チェック表の使い方

使い方 ②

認知症介護チェック表（詳細版）



6 事後評価

ケアをした後の本人はどんな様子ですか？ (年 月 日 時 分時点)	
表情	<input type="checkbox"/> 笑っている <input type="checkbox"/> 微笑んでいる <input type="checkbox"/> 穏やか <input type="checkbox"/> 見つめている <input type="checkbox"/> しかめっ面 <input type="checkbox"/> 眉をひそめている <input type="checkbox"/> 無然としている <input type="checkbox"/> 眉にしわをよせている <input type="checkbox"/> いらいらしている <input type="checkbox"/> 泣いている <input type="checkbox"/> 無表情 <input type="checkbox"/> 憂鬱そう <input type="checkbox"/> 青白い <input type="checkbox"/> うつろ
しぐさ	<input type="checkbox"/> くつろいでいる <input type="checkbox"/> 動作が穏やかである <input type="checkbox"/> こぶしを振る <input type="checkbox"/> こぶしを握る <input type="checkbox"/> そわそわしている <input type="checkbox"/> 同じ動作を繰り返す <input type="checkbox"/> ため息をついている <input type="checkbox"/> 震えている <input type="checkbox"/> 足をゆすっている <input type="checkbox"/> 涙を流す <input type="checkbox"/> うなだれている <input type="checkbox"/> 動かない
発話	<input type="checkbox"/> 笑う <input type="checkbox"/> うたう <input type="checkbox"/> 的確に返事をする <input type="checkbox"/> 叫ぶ <input type="checkbox"/> ののしる <input type="checkbox"/> 何回も呼ぶ <input type="checkbox"/> 沈黙 <input type="checkbox"/> 泣く
回数	・徘徊の回数 _____ 回 / 1日 _____ 分おき _____ 分間

ケアを実施した直後に、表情やしぐさ、気持ち、回数など高齢者の様子がどうなったかについて確認をするよう心がけてください。

- 観察した年月日と時間を記入します。
- 表情について、該当するもの全てにチェックをします。該当する表情がない場合は、自分で記入してください。
- しぐさについて該当するもの全てにチェックをします。該当するしぐさがない場合は、自分で記入してください。
- 気持ちについて、高齢者本人がどんな気持ちなのかを本人に聞いたり、様子から推測して、書いてください。
- 回数については、現在、該当する行動が1日に何回くらいあるのか、おおよそ何分おきくらいにあるのか、1回あたりにどれくらいの時間続いているのかを記入してください。

そして、ケア実施前の様子とケア実施後の様子を比較してみてください。表情やしぐさは変化しましたか。気持ちは変わっていますか。回数は減っていますか。常に、ケアを実施したあとの高齢者の様子や変化を記録するようこころがけてください。



使い方 ③ 解説集の使い方

認知症介護チェック表(要約版) 徘徊

徘徊 認知症介護チェック表(要約版)		詳細版参照	解説集参照
例	○〇さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらまわって来たたりしています。たまに、玄関から突然外に出て行って...	p1-① p1-②	p44-① p45-②
ケアのポイント	徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人の理由に応じて原因を解決するようにしましょう。		
ケアの方法	徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人の理由に応じて原因を解決するようにしましょう。		
ケアのポイント	徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人の理由に応じて原因を解決するようにしましょう。		

認知症介護チェック表(詳細版) A3版 p.1 環境調整

徘徊 認知症介護チェック表(詳細版)		解説集参照
例	○〇さんは用や目的も特に認められないのに、ぶらぶら歩きながらまわって来たたりしています。たまに、玄関から突然外に出て行って...	p44-①
ケアのポイント	徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人に合った徘徊は減らすようにしましょう。	
ケアの方法	徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人に合った徘徊は減らすようにしましょう。	
ケアのポイント	徘徊を無理に止めるのではなく、徘徊の理由を確認して、本人に合った徘徊は減らすようにしましょう。	

解説集

解説集は、認知症や認知症介護に関する初歩的な知識について解説している概説部分と、認知症介護チェック表(要約版)、認知症介護チェック表(詳細版)に記載されているケア方法の例について解説している部分で構成されています。

I部の概説は、認知症や認知症介護についてほとんど勉強したことがない方が、最低限知っておかなければならない基本的な事柄について解説しています。自分で勉強したい方は、概説部分を熟読しておくことを勧めます。

II部の解説部分は、チェックシートの解説集参照ページや項目番号に対応しています。チェックシートのケア方法例だけでは理解できない場合に該当する部分の解説を参考に理解を深めてください。

解説集 44ページ

続 初めての認知症介護解説集



5 介護現場での活用方法

活用の流れ

STEP 1 基本知識の確認

最初に認知症や認知症介護の基本について、認知症介護解説集の「I部 概説」を熟読したり、先輩から教えてもらったりして、確認しましょう。



STEP 4 チームで介護チェック

- 介護現場のケアはチームで計画し、共有することが必要ですので、チェックされたシートについてチームで話し合います。
- また、チームでケアプランを作る時もチェック表や解説集を参考資料として方針やケアプランの確認をします。



ケアの実施



STEP 3 先輩と一緒に介護チェック

- 初心者の方が、1人でチェック表を確認することは難しいかもしれません。事例の選定や、基礎知識の確認、ケアの方針、高齢者状態の評価、ケアポイントや方法の確認、アセスメント視点の確認を、経験者や教育担当者が解説集や詳細版を参考にしながら一緒に考え、指導やアドバイスをを行います。
- 指導する側の経験者や教育担当者同士でもチェック表の内容を確認し、共有しておくことで、指導内容が統一されてきます。



STEP 2 自分の介護を自己チェック

- ① 徘徊、興奮・暴力、帰宅願望がある方を選びます。
- ② 認知症介護チェック表（要約版）の基本項目に従って、高齢者の氏名や身体機能、認知症の重症度、行動の様子、自分の氏名などを記載します。
- ③ ケア方針を確認しすべての方針を覚えましょう。
*チームや自分で方針を追加したい場合は書き加えます。
- ④ 「本人はどんな様子ですか」について、該当する行動を行っている時の表情やしぐさを確認し、どのような気持ちでいるか考えてみましょう。
- ⑤ 今までの介護や今日実施した介護を振り返りながら、「ケアのポイント」や「ケアの方法例」を全て確認し、実施したケア、実施していないケアをチェックします。実施している方法がチェック表にない場合は、書き足してください。

*チェック表に記載している方法例がわからない場合は、「詳細版参照」や「解説集参照」の参照ページ番号をみて、詳細版や解説集の該当ページをよく読んでください。
*要約版でケアのポイントを絞って、より細かく確認したい場合は対応する詳細版のチェック表を使用してください。

- ⑥ 各ケアのポイントごとに、「注意☆こんなケアしてませんか」の方法例を確認し、自分が実施していないか、実施しているかを確認してください。
- ⑦ 「ケアをする時にここを確認してください!」を確認し、高齢者の行動の原因を考えたり、ケアを実施するときに必要な情報として参考にしてください。
- ⑧ ケアを実施した場合は、もう一度、高齢者の表情やしぐさを確認し、気持ちを考えてみましょう。ケアを実施する前と変化がみられるかもしれません。
- ⑨ これらの作業を該当する行動がみられたときに繰り返し、自分でチェックします。

★以上の方法を繰り返し行うことで、自然とケア方法の選択肢が増えてきます。また、自分に不足している視点や、ケアの方法が分かってきます。そして常に高齢者の状態を確認する習慣が身につくようになり、高齢者を中心としたケア方法を考えるようになってきます。
★慣れてきたら詳細版のチェック表を使用します。

6 活用の実際

認知症介護チェック表や
解説集を事業所で活用した事例

活用例 1 導入するときの例

-  事業所の種類 …… 認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)
-  使用者 …… ユニットのリーダーと新任職員
-  対象事例 …… 帰宅の要求が頻繁にある方

→ 導入時の流れ

準備

- 介護リーダーは詳細版を、新任職員は要約版を用いる。
- 解説集は読みたいときに読めるよう、フロアに据え置く。

リーダーへの オリエン テーション

管理者及び介護リーダー2名に対して「続 初めての認知症介護」の活用方法について説明を行う。



ケアが「できる」「できない」をチェックすることだけが目的ではなく、チェック表を通じてリーダーとスタッフのコミュニケーションを図ることを目的としてほしいことを伝え、介護リーダーから声をかけ進捗状況を確認するよう促す。

リーダーから スタッフへの 説明

最初にリーダーから「続 初めての認知症介護」を使用する目的をスタッフへ説明し、適時、面接を継続して説明する。



使用方法に関する留意点

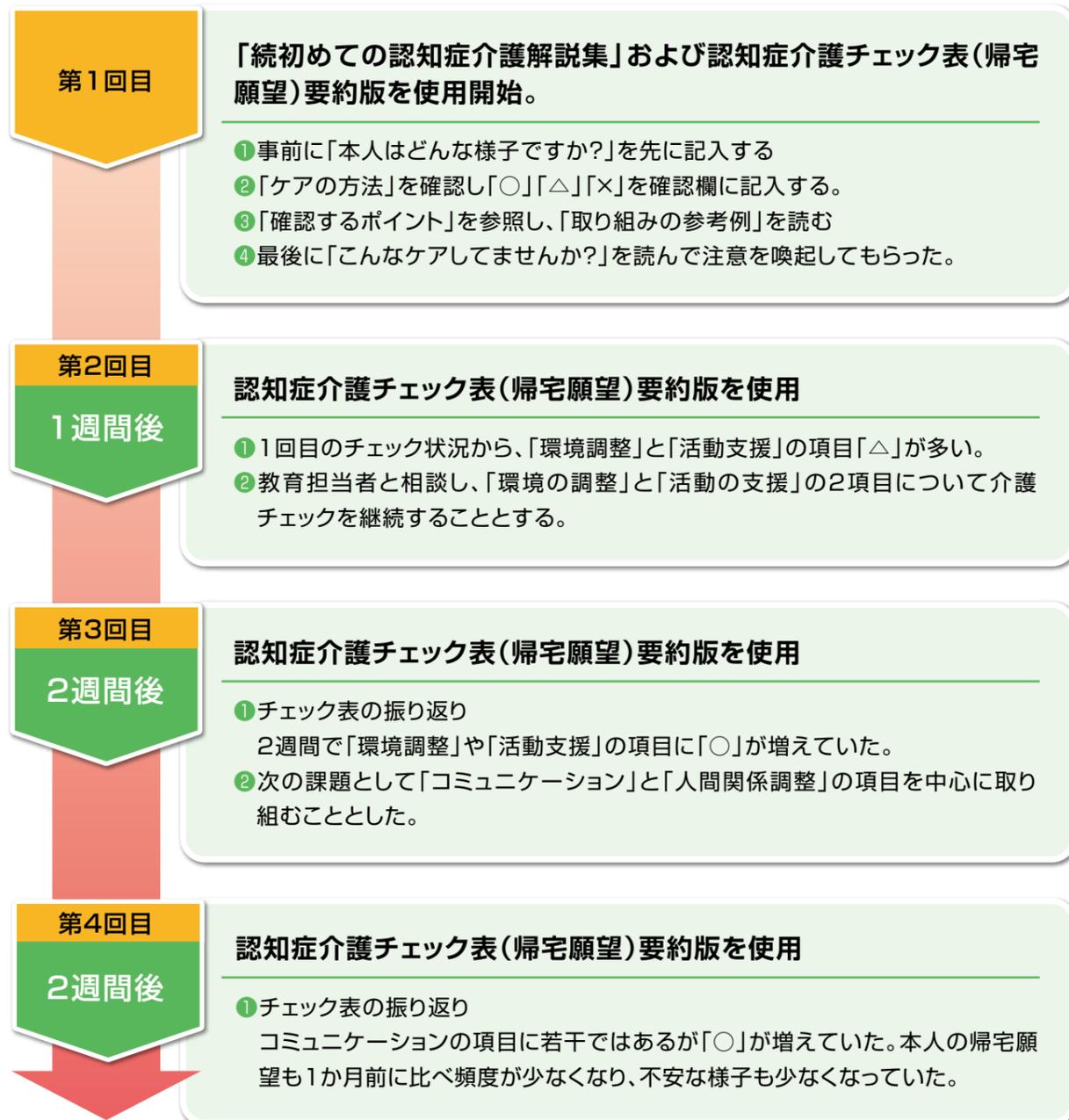
- BPSDの出現時に記入し、毎日チェックする必要はない
- わからないことや対応に行き詰まったときには、解説集を参考にする
- 自主的に積極的に取り組む
- リーダーの面接について自発的に申し込んでも構わない
- 問題に直面した時には、リーダーと一緒に考える



活用例 2 教育担当者が専任でいる事業所の場合

- 事業所の種類…認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)
- 実施者…管理者(教育担当者) 利用者…1ユニットのリーダー、新任職員
- 対象事例…帰宅の要求が頻繁にある方 1名

→ 使用の流れ



使用した感想

- ① 本人の趣味や自宅での生活状況に関連した会話をする事の重要性に気付いた。
- ② 本人に関する在宅での情報が不足していることに気付いた。
- ③ 本人との会話のペースや会話する場所について意識していなかったことに気付いた。
- ④ 環境などの調整が必要なことに気付いた。
- ⑤ 自分の仕事(業務?)ばかりが気になっていたことに気付かされた。



教育担当者の感想

本人との会話が増え、会話内容が一般的な話題ではなく、本人に関わる内容に変化し、コミュニケーションの質が変化したと感じた。



活用例 3 事業所全体で組織的に活用している場合

チームケアの向上を目的にカンファレンス、自己学習、ケアの評価、個別指導の資料としてチーム全体で活用している事例

-  **事業所の種類**… 認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)
-  **実施者** …… 法人事務長(教育担当者)、管理者・計画作成担当者(係長)
-  **使用者** …… 主任介護士(ケアリーダー)1名、介護士(サブリーダー)1名、介護士2名、介護員3名の計7名
-  **対象事例** …… 帰宅の要求が頻繁にある方 1名
-  **背景** …… 新人職員の加入や異動によりチームにおけるケアのばらつきがみられ、認知症の方の帰宅要求に対して、その場しのぎのケアしかできない状況であった。

管理者は、認知症の方の気持ちに沿ったケアを実践するため、スタッフのアセスメント能力の向上と認知症と心理の理解を促進する必要性を感じていた。

しかし、職員の知識や経験の差が大きく、どのように教育したらよいか、また指導時間の確保が難しいなど、課題が山積していた。そこで、職員個々の自己学習を促進し、チームケアの向上も図ることを目的に、カンファレンスを取りかかりとして、「続 初めての認知症介護解説集 認知症介護チェック表『帰宅願望』要約版」を活用した。

→ 使用の流れ

第1回目

2月19日

ケアカンファレンスで活用(1時間程度)

- ① チームで協議し、毎日夕方になると帰宅の要求が頻繁にある方を選定
- ② ケアの見直しと、ケアの方向性を統一するために介護チェック表 帰宅願望(要約版)を職員全員で各自記入。
- ③ チェック後のシートを見ながら不足している視点や注意しなければいけないケアについて、1人ずつ振り返りを実施。
- ④ 最後に、ケアの方向性や具体策の工夫について介護チェック表(詳細版)を参考に、ケアを実践してみるよう促した。
(会議に参加できなかったスタッフは、翌日管理者から説明を受け記入し、記入後管理者と一緒にケアの振り返りを行った。)

第2回目

2月20日～
3月3日

ケア実践への活用と自己学習の促し

実践への活用 2月20日～26日

- ① 1回目のチェックで得た知識と気づきを踏まえて、高齢者の状態を確認し、新たなケアを実践するよう促した。
- ② 行き詰った時など、他の具体策を自ら考えられるよう、介護チェック表(要約版)と解説集を事務室に置いた。

自己学習への活用 2月24日～26日

- ① 終業前に1週間を振り返り、自分のアセスメントがどの点まで広がったか、ケアにどんな工夫ができたか等、再度介護チェック表(要約版)に記入する。
- ② 記入したチェック表について、リーダー又は管理者と一緒に振り返り、チェック項目の変化と高齢者の変化について、アドバイス、指導を受ける。
- ③ 効果のあったケアを確認し、チェックしていないケア項目についての指導を受ける。
- ④ 指導やアドバイスを踏まえ、2週目に取り組むケアの課題を自ら設定する。

実践への活用 2月26日～3月3日

- ① 2回のチェックで得た知識と気づきをふまえ、高齢者の状態を確認し、新たなケアを実践するよう促した。
- ② 介護に行き詰った時、他の方法を自ら考えられるよう、介護チェック表(要約版)と解説集を事務室に置いた。



第3回目
2月26日～3月13日

ケア実践への活用と自己学習の促し

自己学習への活用 2月26日～3月3日

- ① 終業前に2週間を振り返り、自分のアセスメントがどの点まで広がったか、ケアにどんな工夫ができたか等、再度介護チェック表(要約版)に記入する。
- ② 記入したチェック表について、リーダー又は管理者と一緒に振り返り、チェック項目の変化と高齢者の変化について、アドバイス、指導を受ける。
- ③ 効果のあったケアを確認し、チェックしていないケア項目についての指導を受ける。

実践への活用 3月4日～3月13日

- ① 3回のチェックで得た知識と気づきをふまえ、高齢者の状態を確認し、新たなケアを実践するよう促す。
- ② 介護に行き詰った時、他の方法を自ら考えられるよう、介護チェック表(要約版)と解説集を事務室に置いた。

第4回目
3月10日～3月19日

ケア実践への活用と自己学習の促し

自己学習への活用 3月10日～3月13日

- ① 終業前に3週間を振り返り、自分のアセスメントがどの点まで広がったか、ケアにどんな工夫ができたか等、再度介護チェック表(要約版)に記入する。
- ② 記入したチェック表について、リーダー又は管理者と一緒に振り返り、チェック項目の変化と高齢者の変化について、アドバイス、指導を受ける。
- ③ 効果のあったケアを確認し、チェックしていないケア項目についての指導を受ける。

実践への活用 3月14日～3月19日

- ① 4回のチェックで得た知識と気づきをふまえ、高齢者の状態を確認し、新たなケアを実践するよう促す。
- ② 介護に行き詰った時、他の方法を自ら考えられるよう、介護チェック表(要約版)と解説集を事務室に置いた。

第5回目
3月19日

全体の振り返り

- ① 職員全員が個々に、重要と考えているケアについて介護チェック表(要約版)に再度記入し、1回目にチェックしたシートと比較する。
- ② チェック内容の変化をグループ内で全員が発表し、ケアの変化について他のメンバーが評価をする。
- ③ 対象とした高齢者の現在の様子についてチームで確認し、高齢者の変化に影響したケアについて振り返る。
- ④ ケアの方向性を再確認し、教育担当者が4週間の評価を行う。
- ⑤ 介護チェック表(詳細版)に記入しながら、細かなケア方法を確認し、今後のケアに活用する。



活用のヒント

ヒント ① 初心者が活用する場合

～認知症介護の経験が浅い初心者が、自分のケアを振り返るために使ってみる～

「介護を始めて間もない」「認知症の方の介護は初めてだ」「パートなのであまり認知症介護の事は勉強していない」「どうやって対応してよいかわからない」そんな認知症介護の初心者の疑問や悩みを解消するために、本書をぜひ活用してみてください。

1 自分の介護を振り返るために

認知症介護が始めての方や間もない方は、今行っている自分のケアに自信がなく、正しいのかどうかも不安なことが多いようです。認知症介護に関しての成功した経験が少ないので、何を基準にどのようにケアをしてよいかわからないまま、日々、試行錯誤している方が多いと思います。ぜひ、「認知症介護チェック表」を使用して、自分が行っているケアを振り返り、アセスメント視点やケアの方法について参考にしてください。そして、参考にしたい取り組みがあったときは、解説集を読んで他の職員に相談しながら自分のケアを見直したり、実施してみてください。繰り返しているうちに、徐々に不適切なケアと望ましいケアとの違いが具体的にわかってきます。そうすれば、今度は、応用する力が身につく様々な場面にも対応できるようになるでしょう。

2 介護にいきづまったら

「不安そうに歩き回っていて落ち着かない」「帰りたいと繰り返し訴える」「突然大声で怒鳴られた」など、初心者の方にとってこれらへの対応はとて難しく、悩んでいる方も多いと思います。そのときは、ぜひ「認知症介護チェック表」の方法例を参考にしてみてください。参考にできそうな例が見つかったときは、ケアの方向性やアセスメント視点を確認してケアの考え方や課題の原因について考えてみてください。実際に目の前で起こっている場面や状況について、まずはケアの方法例を参考にし、最後にアセスメント視点や方向性を確認して理解するといった使い方も可能です。

3 認知症介護を自分で勉強したくなったら

本書は「認知症介護チェック表」の方法例を解説した解説集を用意しています。初心者の方が、自分で勉強するための学習教材としても活用できます。認知症とは何か、認知症介護の基本理念、認知症介護の留意点など基礎的な知識は勿論、具体的な実践例まで網羅していますので、解説集のみをテキストとして学習することで最低限の知識から実践的なケアの方法まで学ぶことができます。是非とも、初心者の方の自己学習教材として活用されることをお勧めします。

ヒント ② 認知症介護の指導に活用する場合

～リーダーや経験者が、部下やスタッフの指導に活用してみる～

本書は、認知症介護を始めて間もない方や初めて介護をする方々を対象にしていますが、これらの新人の方々を指導する先輩職員や、教育担当者の方々の指導助言の参考資料としても活用可能です。

1 新人職員のアドバイスに困ったら

本書に掲載している方法例や考え方は、基本的な内容に限定されますが、認知症介護の経験者が自分のケアを整理したり、確認するための資料としても有効です。特に、初心者にアドバイスしたり指導を行うときに、どのように指導したりアドバイスしたらよいか困るときがあると思います。例えば、実際にケアをすることは上手なのに説明しようとするとうまく説明できなかったり、ケアの考え方や視点ばかりで、具体的なケアの説明ができない方も多いと思います。そのときに、「認知症介護チェック表」や「解説集」を参考に、一緒に確認しながら説明するときの資料として活用すれば、わかりやすいアドバイスや助言が可能となります。

2 指導内容に食い違いが起こったら

認知症介護の指導や教育で最も起こりやすい課題として、指導やアドバイスをする人によってアドバイス内容が違っていたり、説明方法が異なるために、新人が混乱してしまうことがあります。これは、指導する人同士で、指導内容が統一されていなかったり、個人個人の経験によって、口頭のみでアドバイスしようとして毎回、微妙にいうことが違ったりすることが原因で起こります。こうしたことを防ぐためには、指導する人同士で指導内容を統一しておくことが必要となります。「認知症介護チェック表」や「解説集」の取り組み例について、事前に確認し、指導するケア内容を統一しておけばこのような食い違いは解消できるはずです。



2014年度認知症介護研究・研修仙台センター 運営事業費における研究事業
認知症介護技法に関する組織内教育（OJT）手法の開発

「続 初めての認知症介護
認知症介護チェック表 活用ガイド」

発行所 社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
〒989-3201
仙台市青葉区国見ヶ丘 6-149-1
TEL 022-303-7550 FAX 022-303-7570

発行者 社会福祉法人東北福祉会 認知症介護研究・研修仙台センター
センター長 加藤伸司

印刷 株式会社 ホクトコーポレーション
〒989-3124
仙台市青葉区上愛子字堀切 1-13
TEL 022-391-5661（代表） FAX 022-391-5664